

取扱説明書

■概要

屋上に立てたアンテナに雷などの誘導雷が落雷し、このサージ電圧で高価なトランシーバーや受信機などの無線機を壊すことがあります。同軸避雷器は、このサージ電圧を吸収して地面に流すことにより、機器を保護する同軸構造のサージ・アレスター（避雷器）です。

■特長

- 本器には、一定電圧以上のサージ電圧が生じると、放電して接地するガス封入式のサージ・アレスター素子を内蔵していますので、極めて安全性に優れています。
- サージ・アレスターは、一定電圧で放電、復帰を何回でも繰り返し動作しますので、交換の必要はほとんどありません。
- 万一、このサージ・アレスター素子が破損した場合は、容易に交換することができます。
- 本器は同軸管構造ですので、高周波特性が良く、広帯域、低損失、低VSWRです。

■取扱方法

- ①本器は軒下などでアンテナ・ケーブルを中継して使用するのに適しています。この場合は、アンテナ・ケーブルの両端に、プラグ（オス）のコネクターを取り付けて接続してください。
- ②接地端子に2.5φ～3.2φの銅線をかきめまたは半田づけし、銅線の先端を大地に埋設した避雷用アースに接続してください。このとき本器と大地との接続距離はできるだけ短くしてください。
- ③避雷用アースは次の点に留意し、確実に行ってください。なお詳細はアースに関する専門書を参照いただくか、専門の工事業者にご相談ください。また弊

社ホームページ(<http://www.diamond-ant.co.jp>)にもアースに関する情報が掲載されておりますのでご利用ください。

- ・孤立した単独のアースとすること。電力保安用アース（感電防止用）等と共用しないこと。
 - ・接地抵抗値はできるだけ小さくすること。
 - ・銅板を大地に埋設するなどし、接地電極の表面積を広くし、土壌との接触面積を大きくすること。
 - ・他のアース回路とはなるべく隔離すること。
- ④本器は防水構造ではありませんので、雨のかからない場所に取り付けるか、全体をテーピング処理してください。

■ご注意

- サージ・アレスターの点検および交換は、丸いつまみを手で回してアレスター全体を傾けて取り出してください。また、締め付けは、指先でしめるだけにし、工具を使用して締め付けしないでください。
- 地上高が高いアンテナ・タワーなどをご使用の場合は、アンテナ・タワー・マールフタワーなどの基部をできるだけ太い線（断面積30mm²以上の銅線または50mm以上のアルミ線）で接地すると共にタワー上のアンテナ直下に同軸避雷器を取り付け、避雷器のアースをタワーを通して接地するようにすると効果的な避雷対策となります。この際同軸避雷器は、粘着テープなどで防水処理を施してください。
- 本器は、誘導雷などのサージ電圧に対して非常に効果的ですが落雷による数万アンペアの大電流に対しては、効果ありません。落雷対策に対しては、避雷針設備と上記のような太い線での接地を施してください。

■仕様

	M形接栓	N形接栓	N形接栓
形名	CA-35RS	CA-23RS	CA-23RP
周波数範囲	DC～1000MHz	DC～2500MHz	DC～2500MHz
VSWR	1.1以下	1.1以下	1.1以下
ロス	0.2dB以下	0.2dB以下	0.2dB以下
耐電力	400W PEP	200W PEP	400W PEP
放電開始電圧	DC350V±15%	DC230V±15%	DC350V±15%
衝撃波放電電圧(1×40)μS	1,000V	1,000V	1,000V
衝撃波電流耐量(1×40)μS	6,000A	6,000A	6,000A
衝撃波反復放電耐量 (1×40)μS 500A、500回以上	DC350V±20%	DC230V±20%	DC350V±20%
絶縁抵抗 DC-100V	10,000MΩ以上	10,000MΩ以上	10,000MΩ以上
コネクター	M-R/M-R	N-R/N-R	N-R/N-P
外形寸法 (コネクターも含む最大寸法)	66W×41H×20Dmm	78W×41H×20Dmm	77W×41H×21Dmm
重量	78g	113g	114g